

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

| 事業所名 | ROSELLE CLUB R | | | | 公表日 | 令和8年 2月 14日 | |
|---------|----------------|--|-----|---------|--|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | | 不用物等を取り除き、のびのびと活動できるようなスペースを広く確保している | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | | 4 | | ・職員の確保が懸念される ・送迎等でばたつくので職員の数をもっと増やすべき | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 1 | 1日の流れをホワイトボードに記載し見やすいところに掲示している | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | 1 | 毎日清掃を行い活動しやすい環境を整えている | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | | 個別指導が必要な場合のみ、職員室でお話を行なっている | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | | 朝のブリーフィングで確認している | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | アンケートをもとに会議で改善点を話し合う機会を設けている | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | 毎日のブリーフィングや会議等で話し合い、改善点を共通理解している | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | | 同グループでの社内実地指導で評価を行い、業務改善に繋げている | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | 各委員会を設立、参加し研修を実施している | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | 事業所で会議等を行い意見を取り入れつつ作成、公開に努めている | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 4 | | アセスメント後に事業所での個別支援会議を行なっている | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | 会議等で職員に共有、共通理解を図って検討している | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | | 会議等で職員に共有、共通理解を図って支援にあたっている | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | | 都度確認しつつ共有し記録に残す取り組みに努めている | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | 項目を職員間で確認し内容を話し合っ決めて、移行時に本人が困らないよう情報の共有を行なっている | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | | リーダー制を取り入れ、様々な活動を全体で取り組んでいる | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|--|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | | 1日ごとにリーダーを変えて活動が偏らないようにしている | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | | 計画に沿った支援内容を周知、意識している | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | | 毎朝のブリーフィングにて確認し連携に努めている | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | | 次の日のブリーフィングにて確認 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | | 記録を残していき、迅速な共有に努めている | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | | 定期的な会議に参加し見直しを行なっている | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 4 | | 地域へ戻れるよう自立支援を目指し、日々療育を行なっている | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 4 | | 予定していた活動に加え児童の希望する活動を取り入れ意欲向上を図っています | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | 会議には毎回対象児童との関わりがある児童 発達支援管理責任者が対応に当たっている | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 1 | 協力医療機関で近くの病院と契約をしている | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | | 保護者、学校に時間変更や行事等は都度確認を行なっている | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | | 移行に向けた支援内容を定期的に保育所等関係機関に共有している | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | | 会議等で情報共有を図っている | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 1 | 地域の関係機関が集まる会議に代表が参加し 定期的に共有を図っている | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 3 | 検討中 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 2 | 相談支援事業所との協力で関係機関との連携 を図っている | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | | 会議、送迎の際に共通理解を図っている | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | | 会議、送迎の際支援方法の共有や提案をしている | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | | 契約時に説明を行なっている | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている | 4 | | モニタリング会議等で保護者や子どものニーズを尊重した上で作成を進めている | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | | 個別支援計画書に保護者から同意のサインを 頂いている | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|-------------------------------------|---|-----------|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | 相談があった際職員で共有し話し合っ て対応に当たっている | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 4 | | | 開催の機会を検討中 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | 支援について保護者の疑問が合った際、状況を詳しく職員で共有し、管理者から説明する事で無事解決できた | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | | QRコードでお便りを発行し、保護者に観てもらっている | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | 個人情報の取り扱いに関して同意書を取っており、掲示物等の個人情報にも配慮して | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | 専門的な言葉だけでなくわかりやすい言葉に言い換えて伝わりやすい声かけを意識し | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 1 | 参加するのではなく、イベントごとにご近所さんに依頼をして交流する機会を設けている | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | それぞれ策定し、定期的に研修等を行なって いる | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | 避難訓練を年2回以上実施している | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 4 | | 一覧表にて記載し常に把握できるようにして いる | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | | 一覧表にて記載し常に把握できるようにして いる | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | 安全計画を作成し内容を事業所で共有して いる | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | | 避難訓練や災害、事故発生時の対応を時々送 迎時等に周知している | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | | 週に1回以上ブリーフィングにて報告と再発 防止を話し合っている | |
| 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | | 年に2回以上研修を実施している | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 4 | | マニュアルのもと同意書等は準備できて いる が該当児童なし | | |